

上海・中国流行報告

2025年1月号
群馬県上海事務所

1月は二十四節気では小寒と大寒。1年で寒さが最も厳しくなる時期です。上海でも寒い日が続いていますが、春節を控えた人々の表情はなんとなく明るく、街の雰囲気も穏やかです。

流行報告 2025年1月号。今回は2つの話題をお送りします。

改めて“春節”とは！？

日本でのお正月ムードが落ち着いた頃になると耳にする「春節」という言葉。この言葉自体は多くの日本人にとって聞き慣れたものになっているだろう。

しかし、筆者は上海に赴任するまではよくわからなかった。3度目の春節を前に、なんとなく分かってきたことを紹介したい。

「春節」とは、旧暦でのお正月を意味する。中国では春節が1年のうちでもっとも重要な日とされており、新暦のお正月（1月1日）よりも盛大に祝われる。そのため、元旦こそ祝日休みになっているが、12月31日も1月2日も社会人は通常勤務、学校でも通常授業が行われる。

日本でも「今年の春節は〇月〇日から」などと放送されるが、春節の連休期間は、毎年11月頃に中国政府によって発表される。

春節の前後7日間程度が連休になるのだが、2025年は1月28日～2月4日の8日間になる。ちなみに、連休前後の土日は振替出勤日として指定される。前後の土日から休日を振り替えることにより、8日間の連休を作り出しているのだ。2025年の場合は1月26日と2月8日の土曜日が通常勤務・通学になる。

2025年1月							2025年2月							
日	一	二	三	四	五	六	日	一	二	三	四	五	六	日
30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
二九	三十	初	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
初	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3
廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	初	二	三	四
27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
廿	廿一	廿二	廿三	廿四	初	二	三	四	五	六	七	八	九	十

26日と8日の「班」は「上班＝出勤」を表す



高鉄上海虹橋駅
春節にはこの写真の何倍もの人が押し寄せる

春節に合わせて中国では人々の大移動が繰り広げられる。この帰省ラッシュに対応するため、特別な交通運輸体制が取られるのだが、このことを「春運」と表現している。

一般的に旧正月の前15日から後25日頃までの40日間が春運にあたる。（2025年は1月14日～2月22日）
高鉄（新幹線）のチケットは乗車日の2週間前から予約できるのだが、春運の時期になると激しいチケット争奪戦が繰り広げられるのだ。（ネットでの販売開始時間と同時に売り切れる）

上述のように、春節は中国人にとって特別に重要な日である。家族揃って春節を迎えるべく、上海などの大都市に出稼ぎに来ている労働者の多くは、「1年に1度の楽しみ」として故郷に帰る。春節前になると上海の街からは人が減り、なんとなく静かな雰囲気になるほどだ。

日本人である筆者からすると、「毎年、連休期間が変わるのは面倒ではないのか？」と思うのだが、事務所スタッフ曰く、「今年はいつが春節休みなのかを考えるとワクワクする」とのこと。

今年も間もなく春節を迎える。すでに街の雰囲気は“ほんわ～か”したものに変わりつつある。



龍華寺（上海市内）の飾り

実は多言語国家

中国で話されている言語といえば、もちろん「中国語」である。しかし、この広大な大陸ではいくつもの方言が使われており、また、中国人同士でも全く分からない、いわば方言を超えた言語がたくさんある。

日本人が言う「中国語」、それは「普通話」といういわゆる標準語のことを指している。中国人は、共通言語である「普通話」と地元の言語を使い分けて生活している。中国人は当たり前のように“バイリンガル”なのだ。

上海にも「上海語」と呼ばれる方言がある。エレベータで中国人同士の会話に耳を澄ませていると、「あれ？聞いたことがない発音ばかりだな」と感じることもあるのだが、そのような時は上海語が話されているのだ。



観光スポット 朱家角
(上海市内)



報恩寺 (蘇州市内)

出張などで他の省に行くと言語の違いがより顕著になる。事務所スタッフは江蘇省（上海市の隣の省）の出身だが、上海で生活していた経験もあり、上海語の聞き取りはできる。しかし、他省の言語となると、何を言っているのかまったく分からないという。ちなみに、同じ省内であっても、地域が違えばまったく通じないということも頻繁にあるらしい。群馬県人同士で会話ができないなんて話は聞いたことないが、こちらでは、そのような状況があっても何の不思議もないのだ。

赴任したばかりの頃は「こんなにたくさんの言語が使われているなんて」と思っていた。しかし、最近では「この広大な大陸のどこに行っても普通話に通じることの方が奇跡なのでは？」なんて、そんなことを感じる今日この頃である。

以下、普通話と上海語の一部を紹介する。（筆者はまったく聞き分けられない）

	普通話	上海語
おはようございます	ザオシャンハオ 早上好	インゾー 侬早
こんにちは	ニーハオ 你好	インホー 侬好
ありがとう	シエシエ 谢谢	シアジアノン 谢谢侬
どういたしまして	ブクワチ 不客气	ウァイオージン 勿要紧
ごめんなさい	ドゥイブチー 对不起	デーヴァッチー 对勿起
さようなら	ザイジエン 再见	ザーフ 再会